

アブラムシ類

a) カワリコブアブラムシ

学名: *Myzus varians*



葉の症状。新梢の葉を縦に巻く。

b) モモコフキアブラムシ

英名: Mealy plum aphid、学名: *Hyalopterus pruni*



寄生状況



葉を巻いた新梢の様子



アブラムシが出す蜜によって黒変した果実

c) 天敵



上の2つの写真はモモコフキアブラムシに寄生していた寄生蜂。体長は約1mm。



上の2つの写真は寄生蜂の幼虫と蛹。

寄生蜂はアブラムシの体内に1つずつ卵を産み付け、孵った幼虫はアブラムシの体内で成長する。そのまま体内で蛹になり、羽化する。

生態と防除

発育経過	: 卵→幼虫(4齢)→成虫(無翅または有翅)。通常は無翅胎生雌虫で、単為生殖
加害部位	: 新梢、葉
越冬形態と越冬場所	: 卵。冬芽やその付近の小枝で越冬。
年間発生回数	: 10回以上
防除適期	: 発芽直後、新梢伸長期、収穫前
防除対策	: 発生状況をよく観察し、発生が見られたら早期に薬剤防除を行う。